



2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 青木 秀暢 幹事 土居 孝信 会報担当 二反田新一 梶屋 武 クラブ広報委員長 大和 裕武

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

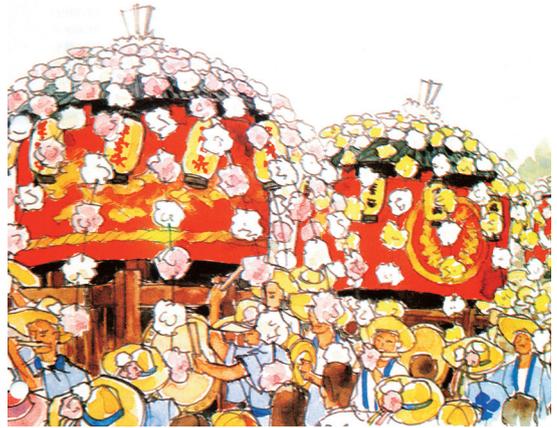
e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第995回例会 平成22年10月7日(木)

●本日の例会プログラム ゲスト卓話「分かりにくい職業奉仕を分かりやすく」
パストガバナー 壽崎 肇氏

◎次回例会プログラム ゲスト卓話「米山記念奨学生(タイ国)」
パニットナンタナクン・ナッタニット氏



前回(994回例会)の記録

平成22年9月30日(木)

■ゲスト

童心会館館長
岡田 幸正 氏

■出席報告

会員数 25名
免除者数 0名
対象者数 25名
本日出席者 20名
欠席者数 5名
出席率 80.00%

■ビジター

山本 洋一郎 (中津RC)

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 5名

メイクアップ 1名

欠席者 4名

修正出席率 80.00% → **84.00%**

●メイクアップ

永松(達) (中津RC)

●欠席者

長野(修)、松本、矢頭、長野(定)

◎ロータリーソング 四つのテスト

◎会長の時間 会長 青木秀暢

先日18日(土)に地区ロータリー財団セミナーに出席をしてみました。その時の講師は、東京世田谷ロータリークラブ・



2750地区財団副委員長の高橋茂樹氏で、パソコン画面を使用して、非常に解り易い講演をされました。その体験談では、世田ヶ谷RC2002～03年度より8年間にわたり、地区内の23クラブに参加を呼びかけ、フィリピンに中古の消防車、救急車、ゴミ収集車を72台寄贈したというお話でした。また、過去にもいろいろなマッチング・グラウンドを利用してこられたので、そのノウハウを活かして、現在もプロジェクトを推進されております。

目的がはっきりとしていれば、財団に対して、みんなの意識も高まり、財団の寄付に対しても理解が得易いのではないのでしょうかと言うようなお話でした。

要するに、どうすれば上手に補助金を利用出来るかという事だと思います。ここに着目していただきたいと思います。何かチャンスがあれば、私共も地区補助金などをうまく利用したら良いのではと思いました。

それと26日(日)に奉仕プロジェクト委員主催による清浄園との交流会が宇佐安心院旅行村で行われました。天候にも恵まれて、事故も無く、大変楽しい行事だったのではと思います。奉仕プロジェクト委員会の方々大変お疲れ様でした。

◎幹事報告 幹事 土居孝信

●例会変更 中津RC10/27(水) → 職場例会12:30～(西蓮寺)

湯布院・杵築・大分・大分東・大分臨海・

大分南・大分中央・大分1985・大分城西(各RC)

●週報受理

天草中央・本渡・八代(各RC)





2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

●会報受理 中津沖代LC

●報告事項

- ・大分県立歴史博物館より、H22年度特別展「発掘された日本列島2010」開催案内
- ・県北福祉施設協議会より「第17回県北ハーモニーフェスティバル」案内

◎例会の食事メニュー

秋色御膳



◎委員会報告

・クラブ管理運営委員会 若松委員長

10/29(金) 仙台での姉妹クラブ交歓会の出席者が確定しました。青木会長、二反田副会長、川崎会員、長野(修)会員、私若松の5名です。参加希望の方は10/10まで追加登録が可能です。

・SAA 江洲委員長

9月で例会でのクールビズ終了です。来月からは上着ネクタイ着用となります。

・新世代担当 長野(定) 会員

先週、2010/9/26(日) 清浄園との交流会を安心院家族旅行村で開催しました。多くのメンバーに参加して頂きまして、無事に終了しました。ありがとうございました。

◎ニコニコボックス 担当：クラブ広報委員会

○土居幹事

出納会員が本日東京出張のため、先日の清浄園との交流会のお礼を文章で頂いていますのでご紹介します。あわせてニコニコも預かっています。

○若松会員

本日卓話を頂きます岡田先生は、私が南部小学校のPTA会長当時、校長先生として大変お世話になりました。本日はよろしく願いいたします。

○辛嶋会員

私も童心会館には大変お世話になっています。館長さんようこそお越し頂きまして、ありがとうございます。残念ながら本日は早退しなくてはなりませんのでニコニコいたします。

○永松(達) 会員

二回連続で例会を欠席しました。私も本日は早退しなくてはなりません。ニコニコいたします。

○長野(修) 会員

9/26新世代奉仕事業には多くの会員に参加いただきまして、ありがとうございます。土居幹事には幼稚園のバスも出して頂きまして大変助かりました。

○二反田会員

日曜日の清浄園との交流会は、子供たちと同様、カートに乗って、大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。企画準備をされた会員の皆さん、お疲れ様でした。

◎ゲスト卓話

「童心会館について」

童心会館館長 岡田 幸正氏



放課後子どもプラン

～放課後の子どもたちに安全で健やかな居場所づくりを～

〈放課後子どもプランとは〉

放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、19年度に文部科学省が創設した「放課後子ども教室」と厚生労働省が以前から取り組んできた「放課後児童クラブ」の両事業を、総合的に実施する「放課後子どもプランJ」が新たに創設されました。



〈放課後子ども教室とは〉

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行う取組みです。

〈放課後児童クラブとは〉

共働き家庭などの留守家庭のおおむね10歳未満の児童を対象に、放課後や長期休暇等に小学校の余裕教室や児童館、公民館等を利用し、遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を図ることを目的とした取組みです。

対象を留守家庭等の児童に限定し、生活の場としての機能を有する点や、授業日や長期休業日のほぼ毎日、時間も比較的遅くまで実施しているのが放課後子ども教室との主な違いです。

★放課後子どもプランのイメージ

「放課後子どもプラン」の実施により、子どもの安全で健やかな居場所を確保、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組の充実

(安全管理員のもとで、コーディネータを通して地域住民に参加協力して頂く)

- ・学びの場--予習や復習、補習等の学習活動(学習アドバイザー)
- ・体験の場--スポーツや文化活動等の体験活動
- ・交流の場--地域の大人や異年齢の子供との交流活動
- ・遊びの場--お手玉やメンコなど様々な昔遊びなど
- ・生活の場--生活指導、家庭との連絡等(専任指導員)